



健康起因事故を未然に防ぐ 健康診断結果のフォロー

「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」に沿って、運送事業者によるドライバーの健康増進・管理について紹介します。今回は「健康診断結果が出た後のフォロー」をテーマに、運送事業者に義務づけられている取り組み内容と、さらに進んだ健康管理を実践するためのポイントについて、東京海上日動リスクコンサルティング株式会社の花島健吾 上級主任研究員に解説してもらいます。

ドライバーの健康管理は運送事業者の義務

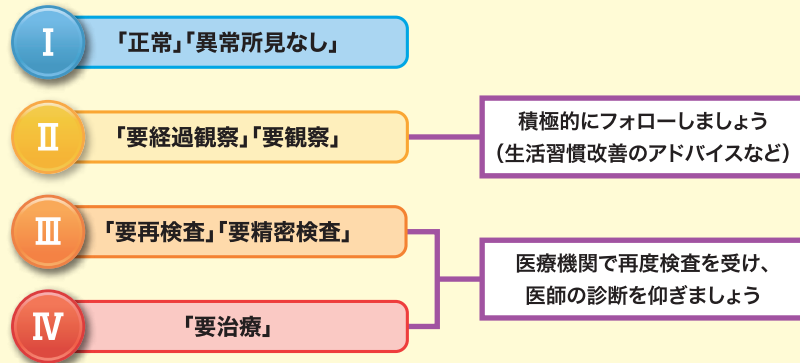
2010年に国土交通省から発行された「事業用自動車の運転者の健康管理マニュアル」では、運送事業者に課せられたドライバーの健康管理に関する義務事項や推奨事項が示されています。まず健康管理を行う前提として、「年に1回以上の定期健康診断」をドライバー全員に確実に受診させることは運送事業者の義務です。また、深夜業や身体に過度な負担がかかる特定業務に常に従事するドライバーの場合は、半年に1回以上の受診が必要です。そして、診断結果で「要再検査」「要治療」などの異常所見があったドライバーには、医師の診断や面接指導を受けて

もらい、医師の意見をもとに就業上の措置を検討することも義務づけられています。就業上の措置としては、「就業時間を制限することや「夜間の勤務に従事させない」こと、あるいは「運転業務に就かせない」ことなどが挙げられます。

運送事業者がこれらの義務を果たすためには、ドライバーの健康診断結果を把握することが不可欠です。運行管理者は、定期健康診断を受診したドライバーに対して、健診結果をフォローするためにヒアリングを行いましょう。特にヒアリングは、ドライバーの健康に対する意識を高めるためにも重要です。

運送事業者は、健康診断の結果に応じた的確な対応が求められます

健康診断の結果（判断は下記の4段階に分かれます）



出典：公益社団法人 全日本トラック協会「トラック運送事業者のための健康起因事故防止マニュアル」より東京海上日動リスクコンサルティング(株)作成

花島健吾（はなじまけんご）

東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 運輸・モビリティ本部 運輸チーム チームリーダー 上級主任研究員 博士(工学)、
旅客・貨物事業者を中心に安全管理体制向上コンサルティングに従事。各地方バス協会、地方トラック協会等で講演多数。

医師の診断が不要なドライバーも積極的にフォロー

健康起因事故の主な原因となる脳疾患・心疾患などには、生活習慣病といわれるものも少なくありません。

今は「要経過観察」の判定にとどまっている人も、放置しているとそのうち悪化して「要治療」となる恐れがあります。「要経過観察」

「要観察」などと診断されたドライバーについても、運行管理者が積極的にヒアリングを行い、バランスの良い食生活や適度な運動、適切な睡眠管理など生活習慣に働きかける「声かけ」をしましょう。場合によっては、医師に相談を勧めることも必要です。

運行管理者がドライバーに行う「声かけ」の例

- 「最近よく眠れていますか？」
- 「週に1回は運動していますか？」
- 「昨日の休日はゆっくり休めましたか？」
- 「ちゃんと野菜も食べてくださいね」
- 「最近、調子はどう？変わったことがあったらすぐに伝えてくださいね」

ヒアリングのためのまとまった時間が取れない場合は、日々の点呼などを利用しましょう。ちょっとした声かけをすることで効果があります。重要なのは、運行管理者がドライバーの健康に高い関心を持っていることを伝え続けることです。

安全性向上のための健康管理は、確実な受診と結果のフォローを

運送事業者の義務

- ① 定期健康診断の受診は確実に！
- ② 「要精密検査」「要治療」のドライバーは必ず医師の診断を！
- ③ 医師の意見を聞いて就業上の措置を判断！

さらに輸送の安全性向上のために
「要経過観察」「要観察」のドライバーも積極的にフォロー！

日野自動車は、ドライバーの状態を常時確認し安全確保に貢献。

<ドライバーモニターⅡ>

わき見や目蓋の開閉など、検知能力が向上。

ドライバーの運転姿勢・顔向きや目蓋の開閉状態などをモニターカメラで常時確認し、前方への注意不足を検知すると警報で知らせます。前方不注意による事故防止に役立ちます。

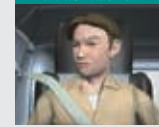
*条件によっては、ドライバーの運転姿勢・顔向き・目蓋の開閉についてドライバーモニターが正常に判定できず、警報機能が正常に作動しないことがあります。

*詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

*日野セレガ、日野プロフィア、日野レンジャー※に標準装備です。日野デュトロと、日野セレガ以外のバスシリーズには設定がありません。

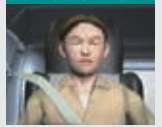
※一部車型はオプション装備または設定がありません。

運転姿勢・顔向き検知



ドライバーがわき見をしている。

目蓋の開閉状態を検知



ドライバーが目蓋を閉じている状態が続く。



動画はこちら